

愛有会 運営事業所

久米川病院

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-393-5511**

介護老人保健施設

久米川

通所リハビリテーション

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-313-0710**

訪問看護ステーション

はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-396-7700**

指定居宅介護支援事業所

はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-391-3007**

指定居宅介護支援事業所

こはぎ

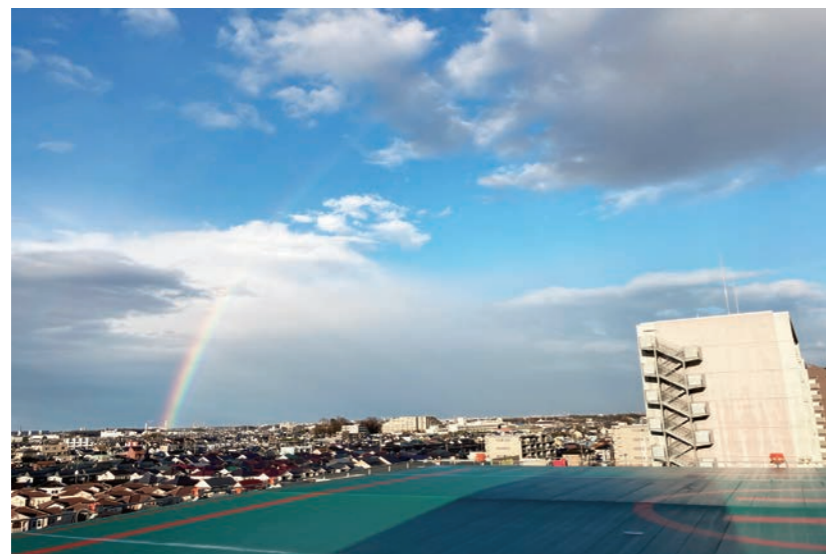
東京都東村山市栄町 2-10-51
NSビル 107 2階
TEL. **042-391-3021**

三愛病院

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4111** (代表)
TEL. **042-691-4131** (相談室直通)

さんあい 介護医療院

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4111** (代表)
TEL. **042-691-4131** (相談室直通)



社会医療法人社団 愛有会

愛有会通信

■発行者／東京都東村山市本町4-7-14
社会医療法人社団 愛有会
TEL.042-390-2033
<http://www.aiyukai.jp>

社会医療法人社団 愛有会

愛有会通信

令和3年8月 発行

Vol.9

通算 第228号



愛有会 基本理念

1. 地域包括ケア

私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていただける街づくりに貢献します。

2. 環境経営

私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。

3. 健康経営

私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。

久米川病院・老健久米川

コロナのワクチン接種はじまっています

令和3年5月より1F多目的ホールにて東村山市の医療従事者及び東村山高齢者の個別接種を開始しました。医療従事者枠は東村山市医師会と相談し当院では東村山消防署を担当しました。実施曜日は月曜日・木曜日、時間は13時45分～15時45分(受付終了)です。



[入口]

ワクチン接種にあたり、薬剤師と、看護師による事前準備があります。看護師が注射器をセッティングし、薬剤師が解凍されたワクチンに生理食塩水を入れ溶解。溶解したワクチンを看護師が注射器にセットします。



[看護師と薬剤師による準備]

会場は感染対策はもちろん、ヒーリングミュージックを流すことで皆様が不安なく接種できるような環境づくりをしています。



[接種会場(多目的ホール)]



[接種の様子]



看護課長 山本 恵視

今年5月より、東村山市からの要請でコロナワクチンの接種を始めました。初めてのワクチンの為、安全にそして不安なく受けられるよう全スタッフ協力して実施しています。

食事サービス向上への取り組み

給食委員会は食事サービスの向上を目的として毎月実施しています。昨年12月より老健でのおやつ提供を開始しました。行事食については、地元東村山市のご当地メニュー『黒焼きそば』や外食チェーンとのコラボメニュー『たいめいけんハヤシライス』、『吉野家親子丼』の提供を行いました。今後は都道府県の郷土料理や世界の料理をテーマとした行事食を提供していく予定です。



食事は毎日の生活において大きな楽しみとなります。より楽しんでいただけるよう今後も工夫していきたいと考えています。

栄養科 竹内 秀幸



(6/20) たいめいけんコラボメニュー



(6/23) 黒焼きそば



(7/11) 吉野屋コラボメニュー

老健レクリエーション

老健では各ユニット毎に曜日を決めてレクリエーションを実施しています。スタッフがギター片手に各個室を訪問してリクエスト曲に応えたり、ボール投げで体を動かしています。季節の移ろいを感じてもらえる様、塗り絵や工作を取り入れたりして工夫しております。



さんあい介護医療院

医療と看護と介護を提供します

長らく八王子で療養医療を行ってこられた三愛病院は令和2年4月1日に「さんあい介護医療院（120床）」を開院致しました。ご自宅での介護が困難になられたご高齢者の方々にご入所いただき、介護はもちろん、必要な医療も提供いたします。ご家族の希望、ご本人の希望を尊重した、その人らしい生活を送れるように支援いたします。当施設は、緑豊かな滝山城址自然公園に隣接しています。竹林に囲まれて心が和みます。春は梅や桜が咲き、秋の紅葉も楽しめます。風光明媚なこの地で、穏やかに療養できるようスタッフ一同、心を込めてお世話をさせていただきます。

院長 大川原 真澄



新型マルチスライスCT スキャナー完備

当院の認定証・登録証



慢性期医療
認定病院
認定証



品質マネジメント
システム ISO
9001:2015 認証



健康優良
企業認定証



TOKYO
働きやすい福祉の
職場宣言事業所



連携医療機関
登録証



連携医療機関
登録証

在宅を意識した「和風空間」を実現



【4人部屋】開放的で明るい居室

居室感覚を高める障子戸やカーテンを備え、大きなガラス窓から見える緑豊かな自然とともに、一人当たり8㎡の広さのゆったりとくつろげる空間でお迎えします。全室3モーター電動ベッド採用、スポットライト等を完備しています。



【個室】

『森のホテル』をコンセプトにした居室です。清潔感を大切にして、窓からは木立を眺めつつ、たっぷりの日差しが入ります。ゆったりと療養いただけるスペースを有しています。酸素・吸引等の医療設備と共に電動ベッドをはじめ、清潔感のある洗面台や個室トイレを完備しています。

【食堂・談話室】

窓一面に木々や緑が広がり、吹抜け構造により内窓からも陽の光が差し込む明るくて開放的な場所です。



【リハビリテーション室】

PT・OT・STの3種の専門職が、幅広い機能訓練を行っています。



訪問看護ステーション はぎやま

訪問看護ステーションはぎやま 所長 佐野 みゆき



世界中が新型コロナウイルスの対応に追われている今日この頃です。その中でも、ワクチン接種は職員全員が完了し、世間ではオリンピックも開催され、少し明るい兆しが見えています。やはりアスリートの方にとっては待ちに待ったオリンピック。私たちも、テレビではありますが精一杯応援します！

訪問看護ステーションはぎやまは、今まであまり進んでいなかった各種マニュアルの作成や見直しを行っています。とりわけ急がれる感染症対策は、新たに担当者を置き、厚生労働省や東京都の指導を受けたりと、少しずつ改善されています。また研修も同様にリモートで計画しています。スタッフが増えたことで内外に力を入れられるようになり、医療・介護従事者だけでなく、地域の方にも参加していただけるような企画を考えていきたいと思ひます。

厚生労働省による、「感染症対策のための研修」を受講しました！

厚生労働省が㈱日本能率協会総合研究所へ委託し実施する、感染症の専門家（感染管理認定看護師および感染症看護専門看護師）による実地研修を受けました。

事前に教材配信サイトより研修プログラムを受講し、感染予防の基本にしっかりと立ち返ります。後日、実際に事業所内を見ていただきながら、感染疑いが発生した場合のゾーニングの方法や防護服の着脱方法に至るまで、専門家ならではのアドバイスをいただくことができる研修です。看護師はもちろん介護サービスに係る職員全員が、標準感染予防策と感染症発生時の備えを理解し実施できることが目的です。感染者を出さないことが一番ですが、万一感染症疑いの職員もしくは利用者が発生した場合、慌てず必要な行動がとれるよう、外部の目で見たりリスクを指摘してもらえりる良い機会となりました。もちろんお互いに防護具を身に付け、感染対策はバッチリです。



新型コロナウイルスに関して言えば、ワクチン接種が進み肩の力を少しだけ抜いても良いかな？と思ひていましたが、やはりまだまだ戦いは続きそうです。必要なことを見定め、安心材料を増やしていくための対策を講じ、いざという時に備えたいと思ひました。この研修で得たことは、近隣地域の施設などとも共有していきたいと思ひます。

←講師の方が使用された感染対策グッズです。フェイスシールドやゴーグル・マスク・防護服などがひとまとめになっていて便利！

「もしもし みみはぎ」です

訪問看護ステーションはぎやまでは、昨年よりご利用者様やご家族様からの電話相談「もしもし みみはぎ」を開設しています。相談のエキスパートである看護師が担当し、自宅での療養に関する不安や悩み、病状についての相談などにお答えしています。ゆっくりとお話が聴ける

指定居宅介護支援事業所 はぎやま

居宅はぎやまの現状

居宅介護支援事業所はぎやま 所長 高橋 佐知子



2月に常勤のケアマネージャー(CM) 1名が入職し、現在 CM3名、事務員1名の体制となっています。新人だったCMもすっかり業務に慣れ、すでに頼れる存在となっています。明るく元気に日々業務に励んでおり、事業所内も少人数ながらも活気が出てきています。

新型コロナウイルスに関しては、まだまだ先が見えない状況ですが、ワクチン接種も進んでおり、少しでも安心して生活できる日がくることを願ひます。

これからも感染対策を行いながら、訪問看護ステーションはぎやま、居宅こはぎ、久米川病院、そして地域の関係者の方々と、引き続き連携して業務にあたりたいと思ひます。

指定居宅介護支援事業所 こはぎ

私のストレス解消法

居宅介護支援事業所こはぎ 所長 立石 あさひ



6月に法人の年次総会が開催され、令和元年10月にオープンした居宅こはぎも、丸々1年間の会計年度を終えることができました。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で活動の結果でしたが、無事に黒字で推移することができました。こはぎを支えてくださった皆様方に改めて感謝申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症ですが、ワクチン接種の開始で異なるステージになってきたとはいえ、やはり従前どおりの日常はまだ見えない状態です。仕事・家庭・地域それぞれの場で何かとストレスを感じる場面が多々あるのではと思ひます。ストレス解消法は人それぞれ。ちなみに私の場合はストレスの度合いによって解消法が違ってきます。軽度：お風呂上りにプシュ！っとビールを1本。少し前は友人と楽しめたお酒の席も今はおあずけ。家で静かにいただきます。中度：やらなくてはいけない家事を見て見ぬふりして新聞や本を読みだします。スマホのネット記事よりも紙ベースのいわゆる活字に没頭したくなります。重症の時：飼い犬を抱きしめて話しかける、ベランダの発砲スチロールで飼っている川エビの様子を眺める…といった調子です。年齢とともに解消法も変化してきましたが、ベースは変わっていないと、これを書きながら笑えました。おかげさまで多忙な日々でありながら、職場のストレスチェックシートの結果は「あなたの心身の健康面は問題ありません」というお墨付きをいただいています。

これからもうまくストレス解消しながら邁進していきたいと思ひます。



→ため、次からのケアに活かすこともでき、訪問する看護師にとっても良い結果となっています。ほとんどの方にとって初めての在宅療養。少しでも不安がなくなり安心して過ごせるよう、お手伝いできればとの思いで取り組んでいます。